

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】

レチノイン酸を介したヘッジホッグシグナル抑制による胎盤形成不全の検討

【研究の概要】

● 研究の目的

妊娠高血圧症候群は母体の血圧の上昇を起こし、けいれん発作や脳出血のリスクとなります。また、胎盤の血流が阻害されると子宮内胎児発育不全が合併し、胎児の死亡率が増加します。この状態は胎盤の形成不全が原因とされています。私たちは胎盤の解析を行うことで病態を解明し、将来的には胎盤形成不全に苦しむ胎児を治療したいと考えています。

● 研究期間

倫理委員会承認日から 2022 年 8 月 17 日まで、研究の実施を予定しています。

● 対象となる方等

研究機関：☒ 附属病院 ☐ 葛飾医療センター ☐ 第三病院 ☐ 柏病院

対象となる方：妊娠高血圧症候群及び子宮内胎児発育不全を発症し、平成 26 年 1 月から平成 30 年 8 月 17 日までに当院で分娩となった方。

● 研究に利用する試料、情報等

試料：胎盤組織

情報：胎盤の組織構築(絨毛細胞の数や分化状態)、胎盤内血管内腔サイズ、胎盤組織免疫

染色によるレチノイン酸シグナル関連タンパク(レチノイン酸受容体、血管内皮増殖因子など)

及びヘッジホッグ関連タンパク(Patched1、Smoothed、Glioma-associated oncogene

homolog 1 など)の発現。

● 他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

本研究には該当いたしません。

【問い合わせ先（対応時間：平日 9：00 ～ 17：00）】

東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座

研究代表者：岡本愛光

研究担当者：梶原一紘

電話：03-3433-1111（内線：9235 ）

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。